

温室効果ガス排出量について

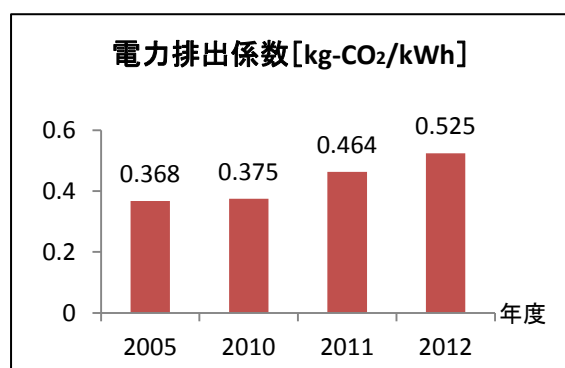
1. 2012年度(平成24年度)の温室効果ガス排出量(速報値)

○2012年度のポイント

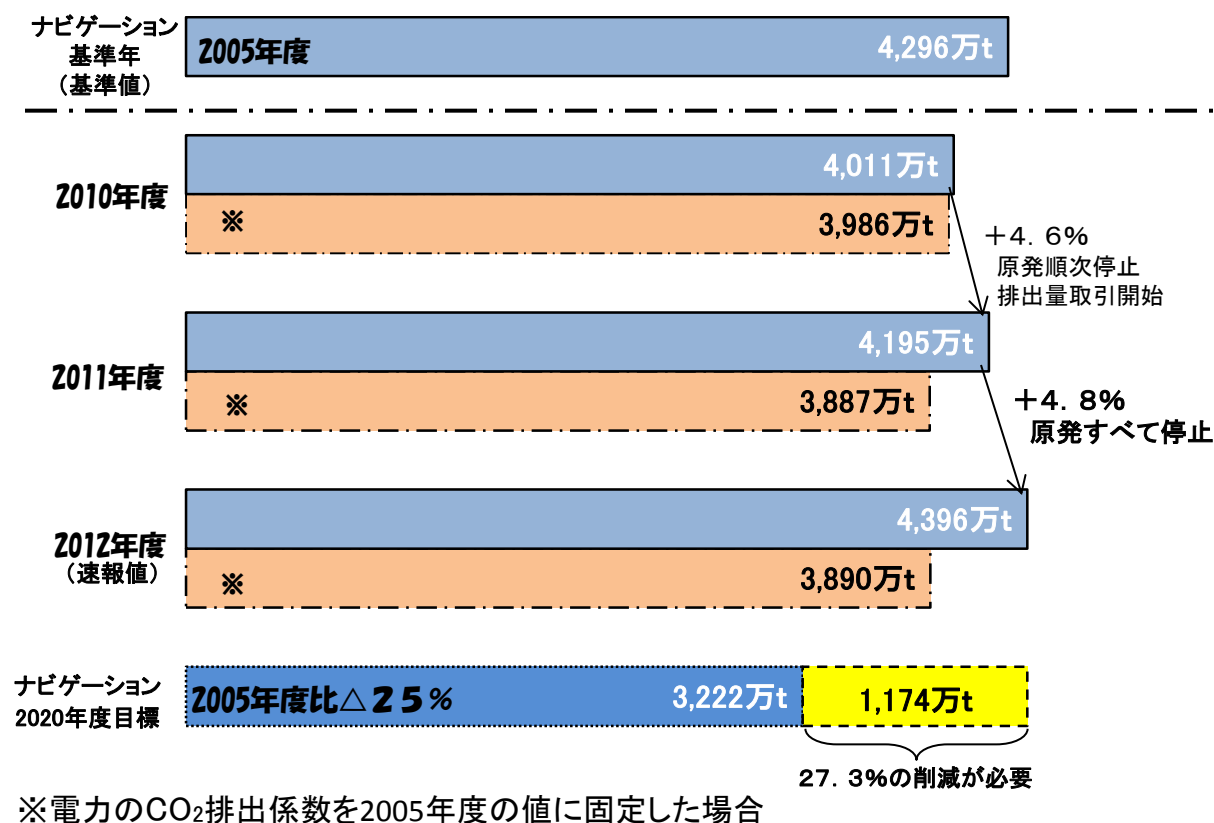
【温室効果ガス排出量】
4,396万トン

【対前年度比】
4.8%増

【増加の主な要因】
火力発電電力量の増加
(発電時のCO₂排出量が
13.1%増加)



○温室効果ガス排出量の推移

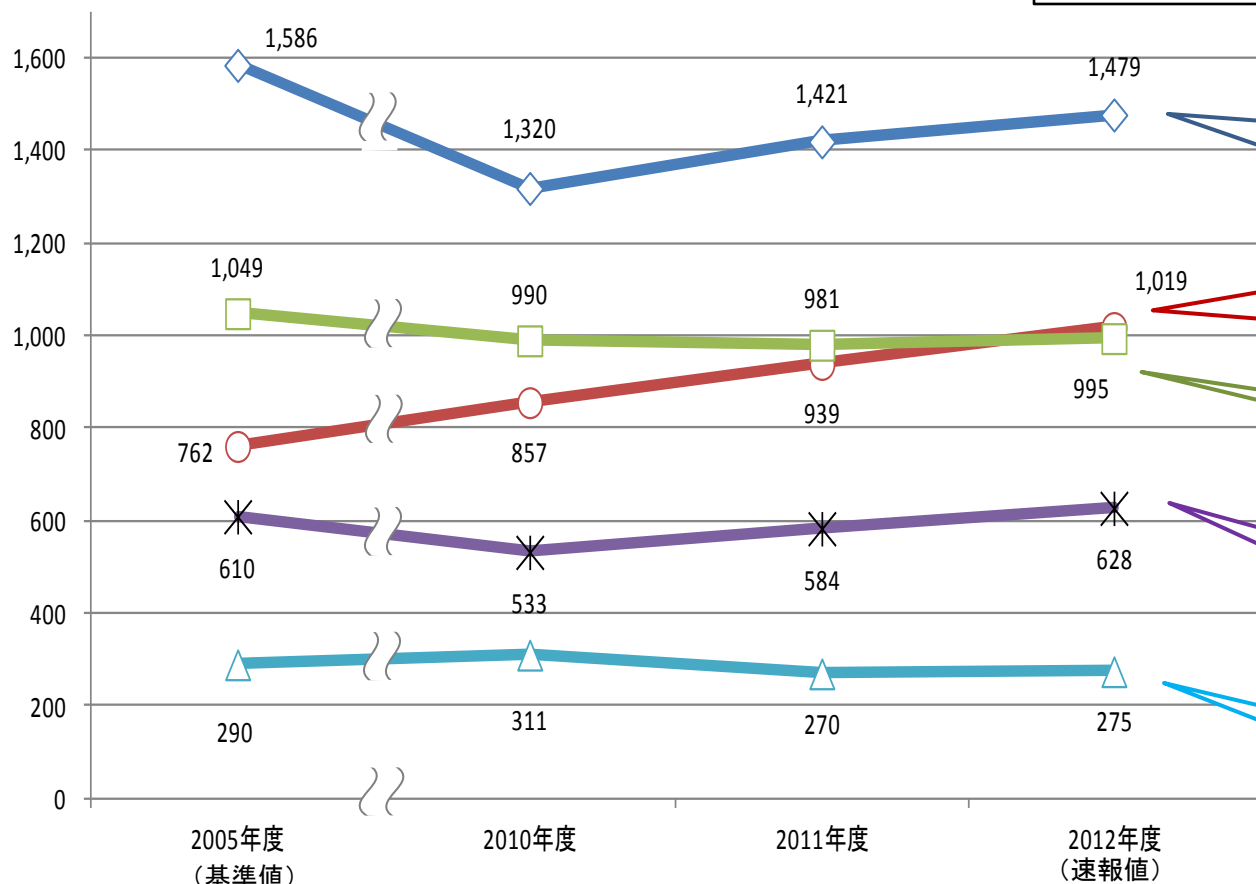


2. 温室効果ガス排出量の内訳

○各部門共通の増加要因 (廃棄物・その他除く)

・火力発電電力量の増加による電力のCO₂排出係数の悪化により、CO₂排出量が増加

(万t-CO₂)



○部門別の傾向分析

【産業部門(◇)】(+4.1%)
・製品出荷額の回復に伴いエネルギー消費量が増加傾向

【家庭部門(○)】(+8.5%)
・家庭用機器の多様化、世帯数の増加等により増加傾向

【運輸部門(□)】(+1.5%)
・軽自動車の割合増加等により燃費は改善傾向にあるが、台数増により概ね横ばい

【業務部門(＊)】(+7.6%)
・エネルギー消費量は横ばいだが、電力排出係数の悪化により増加傾向

【廃棄物・その他(△)】(+1.7%)
・廃棄物処理量は概ね横ばい。
・代替フロン(HFCs)の処理量の増加。